



文責 学校長

明日から夏休みに入ります。

～3年生は明日から中期補習、1・2年生はジョイントスタディへの協力を。～

1 日本の次世代リーダー養成塾に6名が選出されました。

福岡県宗像市のグローバルアリーナを主会場に全国の選ばれた高校生が参加する「第17回日本の次世代リーダー養成塾」の佐賀県推薦枠に本校から石橋侑央さん(2-2・青陵中)・佐藤涼香さん(2-3・西有田中)・廣 乙羽さん(2-2・青陵中)・星山知慶くん(2-4・青陵中)・池田和香奈さん(1-5・青陵中)・辻 愛実さん(1-4・青陵中)の6名の生徒が選ばれました。8月8日(土)から9日間のオンライン講座、9月12日(土)からの4日間の合宿に参加して、様々な講義、ディスカッション等のプログラムに挑戦します。このイベントに本校は第1回から毎年参加しており、全国の高校生や著名な講師陣から刺激を受けて、その実績を活かして進路実現につなげています。

2 人生の転機となる日々を過ごしましょう。マイ・ベスト・ブックとの出会いも。

【諸君のチャレンジを待っている企画】・・・()内は締切日です。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ◇佐賀県文学賞作品募集 (8/7) | ◇トンボ写真コンクール (8/31) |
| ◇国際マンガコンテスト (8/31) | ◇交通安全デザインコンテスト (8/31) |
| ◇エシカル甲子園参加申し込み (8/31) | ◇お弁当甲子園 (9/5) |
| ◇世界エイズデーポスターコンクール (9/4) | ◇心の輪を広げる作文・ポスターコンテスト (9/4) |
| ◇統計グラフ佐賀県コンクール (9/4) | ◇地球環境論文賞 (9/4) |
| ◇高校生アートコンペティション (9/7) | ◇4コマまんが大賞 (9/8) |
| ◇県愛鳥週間ポスターコンクール (9/8) | ◇国土緑化運動・育樹運動標語募集 (9/8) |

これら以外にも様々な挑戦が用意されています。詳しくは担任の先生や担当部署の先生にお尋ねを。

【参考】佐賀県出身のマルチタレント「優木まおみ」さんも、高校3年の時にチャレンジした「文の甲子園」(3人1チームで3つのテーマの作文にチャレンジ、優勝賞金50万円)で、全国3位(副賞20万円)に輝いたことが自信となり自分の夢を掴みました。この夏、生徒諸君も人生の転機となる挑戦をしてみませんか?(添削指導大歓迎)

3 野球部の夏終わる。…夏2勝も12年ぶりのベスト8進出はならず。夢は後輩へ。

雨で順延となっていた高校野球3回戦(対佐賀西)が7月29日(水)に行われました。相手の左投手対策が裏り、ヒット数では勝っていたものの6対1でゲームセットとなり、12年ぶりのベスト8進出はかないませんでした。トーナメント戦では半分のチームが初戦で姿を消す中、夏2勝を挙げた3年生の思いは後輩に託されました。



4 美術実技講習会、西部地区高校演劇祭に参加しました。

7月25日(土)に「美術実技講習会」が佐賀北高校で、26日(日)に「西部地区高校演劇祭」が武雄市文化会館でそれぞれ開催され、本校美術部・演劇部の生徒が参加し、日頃の活動の成果を図る好機となったようです。美術部は九産大芸術学部の先生から実技の指導を受けました。演劇部は「無名坂」というタイトルでホラー仕立ての芝居を披露しました。



5 今週の話成語・・・『李下に冠を正さず』

【問題】「李下に冠を正さず」を英語で表現すると?また同じ意味の話成語は?

人から疑いをかけられるような行いは避けるべきということだ。(出典:『古楽府[君子行]』より)

【由来】「李下」は、スモモの木の下のこと。スモモの木の下では、冠をかぶりなおそうと手を上げないほうがよい。なぜなら、人からスモモを盗んでいるのではないかと疑われないためである。(参考:「故事ことわざ辞典」より)

6 今日の一言・・・坂本龍馬(高知県出身)の言葉です。

○人生は一場の芝居だというのが芝居と違う点が大きくある。芝居の役者の場合は舞台は他人が作ってくれる。なまの人生は自分で自分のがらに合う舞台をこつこつ作って、そのうえで芝居をするのだ。他人が舞台を作ってくれやせぬ。

【解説】高知と言えば坂本龍馬。「自分で舞台を作る、これが人生だ」と坂本龍馬は語っています。私たちの人生も、誰かの書いた芝居でもないし、誰かの作った舞台でもありません。すべてを自分で作り上げる難しさや楽しみが人生にはあります。「自分で自分のがらに合う舞台をこつこつ作って、そのうえで芝居をするのだ。」の言葉のとおり、どんな舞台をつくるかは、自分のしたいことや自分にあった場所を見つけてからが始まりです。まずはそこを見つけることです。

【坂本龍馬について】土佐郷土に生まれ、1862年(文久2年)に脱藩した後は志士として活動し、貿易会社と政治組織を兼ねた亀山社中(後の海援隊)を結成。薩長同盟の斡旋、大政奉還の成立に尽力するなど倒幕および明治維新に影響を与えました。また、大政奉還を成し遂げるため、「船中八策」を記したことで有名です。(参考: Wikipedia)

7 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その13 いくつ読めますか?

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ①臨む (臨海) | ②展べる (進展) | ③叙べる (叙述) | ④序べる (序章) | ⑤伸べる (延伸) |
| ⑥呑む (呑舟) | ⑦融ける (溶融) | ⑧賞める (賞賛) | ⑨披く (法被) | ⑩拓く (開拓) |
| ⑪僻む (僻見) | ⑫衝く (衝突) | ⑬透る (透明) | ⑭囃す (囃子) | ⑮帥いる (元帥) |
| ⑯担う (担任) | ⑰驕る (驕慢) | ⑱併ぶ (併進) | ⑲抑える (抑制) | ⑳陪る (陪審) |

8 今週の一冊・・・今回の一冊は、高知県出身の有川浩の『県庁おもてなし課』です。

地方には、光がある一物語が元気にする、町、人、恋。とある県庁に突如生まれた新部署“おもてなし課”。観光立県を目指すべく、若手職員の掛水は、振興企画の一環として、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するが…。「バカか、あんたらは」。いきなり浴びせかけられる言葉に掛水は思い悩む一いつたい何がダメなんだ!?掛水とおもてなし課の、地方活性化にかける苦しくも輝かしい日々が始まった。

(参考:「e-book」より)

【解説】作者・有川浩さんの出身地である高知県を舞台とした小説で、高知県から観光特使を依頼された際の体験に触発されて書き起こされた作品です。題材となっているのは高知県庁に実在する観光振興部・「おもてなし課」です。物語は「おもてなし課」内の人間関係、また「おもてなし課」をオブザーバーの立場でサポートする清遠一家の人間関係を中心として展開しつつ、純情な恋愛模様も織り交ぜつつ、舞台となる高知県の特色を見事に描き出しています。この小説を読むと、自分も地域おこし・町おこしに頑張ってみようかなあと思わせてくれる、そんな一冊です。公務員(県庁・市役所)を志望する諸君には是非読んでほしい一冊です。有川作品の面白さは保証します。

【作者・有川浩について】名前から男性と勘違いされていることが多いが「アリカワヒロ」と読み、女性小説家である。高知県生まれで、第10回電撃小説大賞『塩の街 wish on my precious』で2004年デビュー。2作目の『空の中』が絶賛を浴び、『図書館戦争』シリーズで大ブレイク。雑誌「ダ・ヴィンチ」の好きな恋愛小説ランキングでは『ストーリー・セラー』が1位を獲得。『キケン』が第1回山田風太郎賞の最終候補作品となる。また『シアター!』を原作とした舞台「もうひとつのシアター!」では初めて脚本を執筆。今、面白い物語を生み出す作家です。(参考:Wikipediaより)

9 日本全県の名所とスイーツめぐり・・・第17回は高知県です。

○名所

(参考:「ぐる旅」その他より)

◆四万十川・・・津野町不入山に端を発し、中土佐町、四万十町、四万十市を流れる四国最長の大河(全長196km)。『最後の清流』として知られ、火振り漁や柴づけ漁など現在でも伝統的な漁が行われている。上流から下流に数多く残っている沈下橋は、欄干がなく川の増水時に水面下に沈むことで流失しないように作られた橋で、今も住民の生活道であるとともに、四万十川の風物詩となっています。全長196kmで四国第一位の大河です。四万十川観光遊覧船もあります。鮎、ウナギ、チヌ、スズキ等がよく釣れます。

◆桂浜・・・高知県を代表する景勝地の一つ。高知市浦戸半島の先端に位置し、竜王岬と竜頭岬の間に広がる砂浜。五色の砂浜、浜辺を囲む青松が美しい。古来より月の名所として知られ、“月の名所は桂浜・・・”と「よさこい節」にも唄われています。東端の龍頭岬では、幕末の志士坂本龍馬の銅像が太平洋を見下ろしています。海浜一帯は「桂浜公園」となっており、水族館や、山手には「坂本龍馬記念館」もあります。

○スイーツ・土産

【芋けんぴ】高知のお土産の定番と言えば芋けんぴです。素材の高知県産のさつまいもは、甘味が強いという特徴があります。短冊に切ったさつまいもを油でカラッと揚げ、砂糖でコーティングすることにより、サクッとした食感になります。噛めば噛むほど、さつまいもの美味しさが口の中いっぱい広がっていき、食感の良さに手が止まらなくなります。万人受けの逸品です。

【かんだし】銘菓かんだしは年間450万個完売の超人気のおやつ菓子で、高知のおみやげの定番になりつつあります。おやつに最適な飽きの来ない美味しさがロングセラーとなっている理由の一つです。純信とお馬のほろ苦い恋物語を、ほんのり甘ずっぱい 柚子の香りに託したお菓子です。しっかりと甘いものの、さっぱりとした後味になっています。

10 保護者の皆様へ・・・新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力を。

生徒・保護者の皆様のご協力のお陰で、何とか1学期を終了することができました。4月に新学年がスタートしたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止策として全国一斉に緊急事態宣言が出され、全国一斉の休校措置を経て学校が再開され、途中大雨による休校も挟んで、夏休みを短縮する形で対応をしてまいりました。その間、生徒・保護者・教職員の皆様の感染予防対策へのご協力により、関係者の中から感染者並びに濃厚接触者を一人も出すことなく授業が実施できましたことに対して厚く御礼申し上げます。しかしながら、第一波の感染者数を超える第二波の感染者が連日のように報道され、緊急事態宣言時以上に感染のリスクが高くなっているのが現状です。「我々国民の努力と協力は何だったのか」と愚痴りたくなるような無策の状態です。8月17日(月)からの後期補習・授業が無事スタートできますように夏季休業中も不要不急の外出は極力避けていただいた上で充実した日々になりますよう切に希望いたします。

【表面の問いの答】※「He that will do no ill, must do nothing that belongs thereto. (悪事をすまいと思う者は、悪事と思われることをしてはならない)」同義の言葉は「瓜田に履を納れず」。「瓜田」とは瓜の畑、うり畑で、かがんで履き物を直すようなことをすれば、うりを盗んでいると疑われるという意味。出典の古楽府「君子行」では「君子は未然に防ぎ、嫌疑の間に処らず。瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず。」とセットで用いられている。

①のぞむ ②のべる ③のべる ④のべる ⑤のべる ⑥のむ ⑦とける ⑧ほめる ⑨かづく ⑩ひらく
⑪ひがむ ⑫つく ⑬すける ⑭はやす ⑮ひきいる ⑯になう ⑰おごる ⑱ならば ⑲おさえる ⑳はかる